

郷土 上野焼「子ども作陶教室」
の伝統に触れた小さな芸術家たち

7月7日に中央公民館で町子ども育成連絡協議会主催の上野焼「子ども作陶教室」が行われました。上野焼協同組合から7人の陶芸家が指導にあたり、参加した69人の子どもの粘土をひも状にして積み上げる「てびねり」の技法を伝授。小さな芸術家たちは、郷土の伝統を学びながら、思い思いにカップや皿などを作陶しました。作品は9月に引き渡し予定です。



↑プロの陶芸家たちの優しい手ほどきを受けながら、作陶を楽しんだ参加者たち。

↓8月2日に大分県で開かれる全国大会に向けて、仲間と練習に励む鈴木さん⑥



絆 福智町出身の飯塚高校生が全国大会出場決定
でつかんだ全国へのキップ

飯塚高校駅伝部に所属する鈴木匠さん(金田)が、陸上競技「3,000m障害」で北部九州予選を勝ち抜き、全国大会出場を決めました。同競技はトラック上に設置された障害物や水濠などを超えながら競う、陸上競技の中でも過酷な種目。鈴木さんは「家族や仲間たちのサポートでつかんだ全国出場。みんなの思いを背負い、全力で挑みます」と、大舞台での活躍を誓いました。

全 赤池ジュニアベアーズが2大会で県大会出場
員野球の質の高さを結果で証明

赤池ジュニアベアーズのレギュラーチームと4年生以下のチームが、ドコモカップ学童軟式野球2013と学童低学年軟式野球大会の予選を突破し、2チーム同時の県大会出場を果たしました。監督就任10年目を迎える江藤仁さんは、「節目の年に選手・指導者・保護者の努力が実ってうれしい。県大会もいい結果を残したい」と、晴れ舞台を前に意気込みを語りました。



↑全員野球で勝ち取った、2チーム同時での県大会出場を喜ぶベアーズの球児たち。

↓一日も早い同和問題解決を願い、スーパー川食(赤池)で街頭啓発を行う参加者。



町 同和問題啓発強調月間を町民へアピール
民へ人権意識の向上を呼びかけ

県と県内の市町村が取り組む「同和問題啓発強調月間」の初日にあたる7月1日に、町内の企業34社と公共施設やスーパーなど5か所で啓発活動を行いました。同和問題への正しい理解と解決を訴え、町民一人ひとりに啓発チラシとタオルを手渡しで配布。行政や住民が力を合わせ、いまだ根深く残る同和問題への意識向上と啓発行事への参加を呼びかけました。

↓弁城小3・4年生23人と伊方小4年生52人が、TOTOの社員と一緒に環境保全活動を体験。



命 TOTOどんぐりの森づくり
の源である森を緑豊かに

衛生器機メーカーのTOTO株式会社(北九州市)と地域住民、町が協働で進める環境保全活動「どんぐりの森づくり」が、6月22日に奥池公園(弁城)で行われました。今年で6回目を迎えたこの取り組みに、今回初めて、弁城小と伊方小の児童が参加。TOTO社員が自宅などで育てた苗木約300本に「大きくなーれ」と声をかけながら、一本一本丁寧に植えていました。作業後は参加者約300人に町の特産品である「方城すいとん」と「ふくち☆リッチジェラート」が振る舞われ、作業の疲れを心地よく癒やしていました。

あ 伊田線開業120周年記念イベント「スイーツの旅」
ま〜い旅をへいちくがコーディネート

北九州・筑豊の人気菓子店を集めた平成筑豊鉄道主催イベント「スイーツの旅」が6月29日から2日間、直方駅と伊田駅で開かれました。期間中はへいちく路線内であれば1回100円でどこまでも乗車できるため、スイーツファンが各会場を往来し、2日間で約12,000人が来場。出店した19店舗の中には、午前中で売り切れ商品が出るなど、好評を博しました。



↑町の特産品「ふくち☆リッチジェラート」も出品。2日間で約360食を販売しました。

↓町内を回り啓発チラシ600セットを配布し、住民へ深い理解と協力を求めました。



安 社会を明るくする運動
安全で安心な社会の実現を願って

田川保護司会福智支部の保護司や町職員など30人が、7月9日に「社会を明るくする運動」を町内でPRしました。この運動は犯罪や非行の防止と、過去に犯罪を犯した人たちの更正について理解を深めてもらい、安全で安心な社会を築こうとする全国的な取り組み。保護司は立ち直りへの理解と犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりを推進しています。